

「令和4年度病害虫発生予報第3号」の発表について

○向こう1か月の主要な病害虫の発生予察情報（発生予報）については次のとおりです。

- ・ 水稲では、縞葉枯病（ヒメトビウンカ）の発生が、北関東及び東海の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ 野菜では、ねぎのべと病の発生が、北関東、北陸及び中国の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ 果樹では、果樹カメムシ類の発生が、北東北、北関東、近畿及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。

この他、なしの黒星病等、地域によっては多くなると予想されている病害虫があるので注意してください。

国の発生予察情報について

国は都道府県の協力の下、植物防疫法（昭和25年法律第151号）に基づき、有害動植物の防除を適時で経済的なものにするため、気象、農作物の生育状況、有害動植物の発生調査の結果等を分析し、有害動植物の発生予察及び防除対策に係る情報（発生予察情報）を提供しています。本予報は、都道府県が提供する発生予察情報を取りまとめた情報になりますので、地域における情報の詳細は、都道府県病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

国の病害虫発生予察情報及び都道府県病害虫防除所のリンク

参照URL:https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/boujyo/120104_yoho.html

気象

気象庁の向こう1か月の予報（6月2日付け）では、気温は北・東日本と沖縄・奄美で平年並か低く、西日本で低いと予想されています。

気象庁ホームページ

参照URL:https://www.jma.go.jp/jp/longfcst/001_00.html（外部リンク）

水稻

水稻で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
水稻	イネミズゾウムシ	北東北	南東北、甲信、東海、近畿、四国、九州
	いもち病	四国	東海、近畿、中国
	縞葉枯病 (ヒメトビウンカ)	北関東、東海	南九州

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

・**縞葉枯病(ヒメトビウンカ)**の発生が、北関東及び東海の一部の地域で多くなると予想されており、茨城県から注意報が発表されています。本病は、ヒメトビウンカが縞葉枯病ウイルスを媒介することにより発病するため、防除対策として当該虫を対象とした薬剤防除を実施することが重要になります。

なお、当該虫を対象として薬剤散布を実施する場合は、薬剤抵抗性の発達を助長しないよう、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統の薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。

・**イネミズゾウムシ**の発生が、北東北の一部の地域で多くなると予想されています。ほ場を注意深く観察し、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、発生状況に応じて防除を実施してください。

・**いもち病**の発生が、四国の一部の地域で多くなると予想されています。今後、断続的な降雨がある場合には急激に発生するおそれがあります。水田の観察を行い、本病の発生状況に応じて適期に防除を実施してください。

なお、一部の薬剤に対して耐性菌が発生しているため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に効果的な薬剤による防除を実施してください。

・**トビイロウンカ**について、一部の地域で今年も平年より早い時期からの本虫の誘殺が確認されています。今後の気象条件の推移によっては、一昨年同様に発生が拡大することが懸念されます。

トビイロウンカの防除は、発生状況に応じた適期・適切な防除が重要となるため、都道府県の発表する発生予察情報をこまめに確認することで、地域の発生状況を把握しながら、タイミングをとらえた適切な防除を実施してください。

野菜・花き

野菜・花きで各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
いちご	アブラムシ類	北九州	南関東、中国
	うどんこ病	南九州	東海、近畿、四国
	炭そ病	北九州	南関東、中国、四国
きゅうり	アザミウマ類	四国	南関東、甲信、北陸
	コナジラミ類	北関東	南関東、北陸
	褐斑病	北関東	中国
	べと病		北関東、近畿、南九州
トマト	コナジラミ類	関東	北陸、北九州
なす	ハダニ類		南関東、甲信、近畿
ねぎ	アザミウマ類	南関東、四国	北陸、近畿、中国
	さび病	関東	北陸、近畿、中国
	べと病	北関東、北陸、中国	
アブラナ科全般	コナガ	北海道、北東北	北陸、近畿
きく	白さび病	四国	南東北、近畿
作物共通	オオタバコガ	東海	南関東、四国

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

ねぎ

・**べと病**の発生が、北関東、北陸及び中国の一部の地域で多くなると予想されており、鳥取県からは注意報が発表されています。ほ場の観察を行い、り病株の抜き取りを実施するとともに、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に薬剤散布等の防除を適期に実施してください。

・**アザミウマ類**の発生が、南関東及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。本虫は作物を加害するほか、多くの病原ウイルス病を媒介することが知られています。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、ほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。

なお、本虫は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

・**さび病**の発生が、関東の一部の地域で多くなると予想されています。本病は、気温が低く降雨が続くと発生が助長されます。また肥切れにより草勢が衰えることでも発生しやすくなります。今後の天候の推移に注意し、ほ場の観察を行い、発生初期からの防除を実施してください。

いちご

・**うどんこ病**の発生が、南九州の一部の地域で多くなると予想されています。本病は葉裏に発生しやすく、果実に発生すると被害が大きいほか、発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため発生初期から防除を実施してください。また、伝染源となる病部は早期に除去するとともに、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統の薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。

・**炭そ病**の発生が、北九州の一部の地域で多くなると予想されています。感染株は早期に抜き取り、ほ場外で適切に処分してください。

なお、本病は高温・多湿になると発生しやすいので、施設内が過湿とならないように、適切なかん水管理を行ってください。また、かん水の水滴が大きいと菌の胞子が水はねにより飛散するため、かん水の際には水滴の小さい機材等の利用も検討してください。

きゅうり

・**アザミウマ類**は、四国の一部の地域で多くなると予想されています。本虫は作物を加害するほか、多くの病原ウイルス病を媒介することが知られています。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、ほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。

なお、本虫は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

アブラナ科全般

・**コナガ**の発生が、北海道及び北東北の一部の地域で多くなると予想されています。ほ場の発生状況に注意しつつ、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に適期に防除を実施してください。

果樹・茶

果樹・茶で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
かき	カイガラムシ類	東海	四国
	ハマキムシ類	東海	北陸
	炭そ病	北陸、東海	近畿、中国、四国
かんきつ	黒点病		近畿、中国、四国
なし	アブラムシ類		関東、北陸、南九州
	シンクイムシ類	北関東、東海	南関東、北陸
	ハダニ類	南関東	南東北
	黒星病	南関東、北陸、中国、南九州	北関東、近畿
	黒斑病	近畿	北陸
ぶどう	べと病	北九州	甲信、近畿、中国
もも	シンクイムシ類		南東北、中国、四国
	せん孔細菌病	四国	近畿
果樹全般	果樹カメムシ類	北東北、北関東、近畿、四国	南関東、東海、中国、南九州
茶	チャノホソガ		南関東、東海、九州
	ハマキムシ類		南関東、東海、南九州
	炭そ病	東海、南九州	北九州

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

果樹全般

・**果樹カメムシ類**の発生が、北東北、北関東、近畿及び四国の一部の地域で多くなると予想されており、茨城県、奈良県、香川県及び愛媛県から注意報が発表されています。山林等の越冬場所から離脱した成虫が春の気温の上昇とともに餌を求めて移動し、果樹全般を加害します。本虫の飛来状況は地域や園地により異なるので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考にしつつ、園内の観察をきめ細かく行い、飛来が認められた場合は、飛来初期から防除を実施してください。

かき

・**炭そ病**の発生が、北陸及び東海の一部の地域で多くなると予想されており、岐阜県からは注意報が発表されています。本病は降雨が続くと多発する傾向があるため、梅雨時期に入ると、本病の発生に好適な条件となることから、発生状況に注意が必要です。対策に当たっては、り病部の除去、薬剤散布等の防除を実施してください。

なし

・**黒星病**の発生が、南関東、北陸、中国及び南九州の一部の地域で多くなると予想されており、鳥取県からは注意報が発表されています。昨年の発生量が多かった地域では、伝染源が多くなっていると予想されることから、特に注意が必要です。対策に当たっては、伝染源となるり病部の除去、薬剤散布等の防除を実施してください。

また、一部の薬剤に対して耐性菌が発生しているため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に効果的な薬剤による防除を実施してください。

・**シンクイムシ類**の発生が、北関東及び東海の一部の地域で多くなると予想されています。都道府県から発表される発生予察情報等を参考に、適期に防除を実施してください。

■ ぶどう

・べと病の発生が、北九州の一部の地域で多くなると予想されています。本病は降雨が続くと多発する傾向があるため、梅雨時期に入ると、本病の発生に好適な条件となることから、発生状況に注意が必要です。対策に当たっては、り病部の除去、薬剤散布等の防除を実施してください。また、一部の薬剤に対して耐性菌が発生しているため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に効果的な薬剤による防除を実施してください。

■ 茶

・炭そ病の発生が、東海及び南九州の一部の地域で多くなると予想されています。本病は、葉に不整形の病斑を生じる病害で、降雨により助長されます。梅雨時期に入ると、本病の発生に好適な条件となるため、茶芽の開葉期および生育期に防除を実施してください。

都道府県が発表した警報、注意報及び特殊報

令和4年5月11日以降、都道府県が発表している警報、注意報及び特殊報は以下のとおりです。

警報

発表はありません。

注)重要な病害虫が大発生することが予測され、かつ、早急に防除措置を講ずる必要がある場合に発表します。

注意報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
5月18日	長崎県	茶	チャノミドリヒメヨコバイ
5月24日	香川県	果樹全般	果樹カメムシ類
5月27日	岐阜県	かき	カキ炭そ病
5月27日	鳥取県	ねぎ	ネギべと病
5月27日	茨城県	果樹全般	果樹カメムシ類
5月27日	茨城県	水稻	イネ縞葉枯病(ヒメトビウンカ)
5月30日	奈良県	果樹全般	果樹カメムシ類
5月31日	愛媛県	果樹全般	果樹カメムシ類
5月31日	愛媛県	かんきつ	カンキツかいよう病
6月1日	大分県	ピーマン	アザミウマ類
6月2日	鳥取県	なし	ナシ黒星病
6月3日	愛知県	ぶどう	ブドウ黒とう病

注)警報を発表するほどではありませんが、重要な病害虫が多発することが予測され、かつ、早めに防除措置を講じる必要がある場合に発表します。

特殊報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
5月19日	大阪県	たまねぎ	タマネギえそ条斑病(IYSV)
5月20日	佐賀県	きく	キク小斑点病
5月20日	愛媛県	トマト	トマトキバガ
5月30日	広島県	ミニトマト	トマト茎えそ病(CSNV)

注)各都道府県において、新たな病害虫を発見した場合及び重要な病害虫の発消長に特異な現象が認められた場合に発表します。

病害虫の生態等の生物学的情報や防除に関する情報の詳細については、各都道府県の病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

(地域)

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

北東北：青森県、岩手県、秋田県

南東北：宮城県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

北関東：茨城県、栃木県、群馬県

南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

甲信：山梨県、長野県

北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県

東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県

南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県

沖縄：沖縄県

(発生量(程度))

多い(高い)：やや多いの外側10%の度数の入る幅

やや多い(やや高い)：平年並の外側20%の度数の入る幅

平年並：平年値を中心として40%の度数の入る幅

やや少ない(やや低い)：平年並の外側20%の度数の入る幅

少ない(低い)：やや少ないの外側10%の度数の入る幅

(平年値は過去10年間の平均)

(参考)今後の発表予定日

第4号:7月6日(水曜日)

第5号:7月20日(水曜日)

第5号:8月10日(水曜日)

第7号:9月7日(水曜日)

第8号:10月12日(水曜日)

第9号:11月9日(水曜日)

第10号:令和5年3月8日(水曜日)

(参考)これまでの発表

第1号:4月13日(水曜日)

第2号:5月11日(水曜日)

【お問合せ先】

消費・安全局植物防疫課

担当者：岡田、麻野、吉田

代表：03-3502-8111(内線4562)

ダイヤルイン：03-3502-3382